

平成24年度
当初予算

総額は367億円

一般会計は過去最大221億円

5つのチャレンジプランの着実な推進

平成24年度一般会計当初予算は、雇用情勢や企業業績の悪化により一段と厳しさが増す中、本市の目指す都市像である「緑豊かで健康な文化田園都市」の実現に向け、市政運営の重点施策と位置づけた「5つのチャレンジプラン」を戦略的・継続的に展開し、市民生活の向上と地域の活性化を図るための積極予算を編成したことから、予算規模は前年度に比べて8億5千万円(4%)増の過去最大の221億円となりました。

昨年の東日本大震災や台風12号による自然災害の発生を受け、「災害に強いまちづくり」を最重要課題と位置づけ、まちづくりに取り組みとともに、未来の京田辺を託す子ども達を育む「子育て支援」や「教育環境整備」をはじめ、「地域経済の活性化」などの重点施策をより一層推進します。さらに、人と人、人と地域の絆を創出し、共に支え合う地域社会を目指し、地域の総合力を高める施策も重点的に進めてまいります。

また、事業の実施については、厳しい経済・雇用情勢であることから、予算効果がいち早く現れるよう早期実施に努めるとともに、「市民の目線」でサービスが提供できるように現地主義を徹底し、やさしさや気配りにも配慮しながら、これまで以上にサービスの質的向上を図ってまいります。



歳入

市税は、個人市民税の年少扶養控除の廃止などにより、昨年度比2.5%増の約95億8千6百万円を計上しました。

地方譲与税は、自動車重量課税の減などにより、昨年度比1.7%減の1億7千6百万円を計上しました。

地方交付税は、市税の増により、普通交付税の減などにより、昨年度比7.0%減の23億9千5百万円を計上しました。

国庫支出金は、児童手当国庫負担金の減などにより、昨年度比6.8%減の約29億1千9百万円を計上しました。

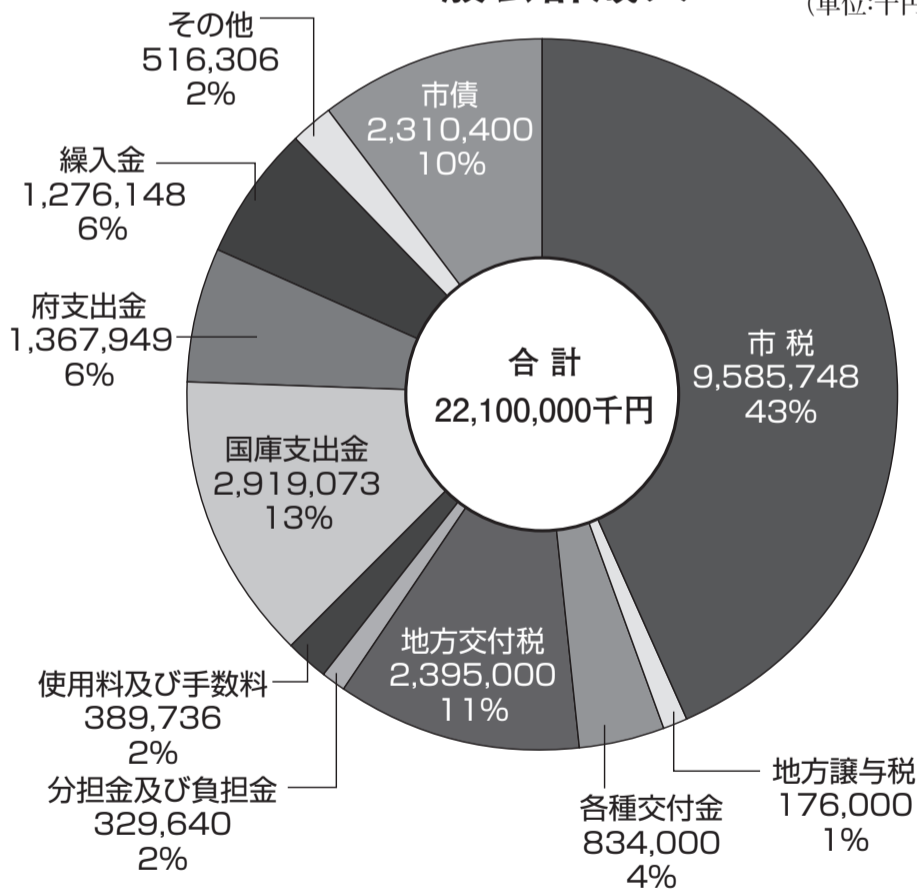
府支出金は、児童手当府負担金の増などにより、昨年度比7.1%増の約13億6千8百万円を計上しました。

繰入金は、開発関連公共施設整備基金繰入金の増などにより、昨年度比77.9%増の約12億7千6百万円を計上しました。

市債は、教育施設整備に係る市債の増などにより、昨年度比20.6%増の約23億1千万円を計上しました。また、その内訳としては、地方交付税の振替による臨時財政対策債が約12億2千5百万円、普通建設事業債が約10億8千5百万円です。

一般会計歳入

(単位:千円)



平成24年度当初予算 会計別歳出内訳

(単位:千円,%)

会計別	年度別	平成24年度	平成23年度	比較	増減率
一般会計		22,100,000	21,250,000	850,000	4.0
特別会計		12,199,100	11,784,900	414,200	3.5
内訳	休日応急診療所計	22,700	22,500	200	0.9
	松井財産区計	18,800	9,500	9,300	97.9
	国民健康保険計	6,216,300	5,821,900	394,400	6.8
	介護保険特別会計	3,106,900	3,060,700	46,200	1.5
	後期高齢者医療計	588,300	541,900	46,400	8.6
	公共下水道事業計	2,186,700	2,269,500	△82,800	△3.6
	農業集落排水事業計	59,400	58,900	500	0.8
	計	34,299,100	33,034,900	1,264,200	3.8
	水道事業会計	2,369,100	2,440,000	△70,900	△2.9
	合計		36,668,200	35,474,900	1,193,300

市税の内訳

区分	平成24年度	構成比(%)
市民税	個人	35億917万円 36.6
	法人	6億341万円 6.3
	計	41億1,258万円 42.9
固定資産税	42億9,750万円 44.8	
軽自動車税	7,687万円 0.8	
市たばこ税等	2億8,451万円 3.0	
都市計画税	8億1,428万円 8.5	
その他	1万円 0.0	
合計	95億8,575万円 100.0	

ミニ用語解説

(歳入)

市税は市民のみならず市内の法人から市に納めていただいている税金(市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税など)地方譲与税は国が徴収した国税の一部について、一定の基準により市町村に譲与される税金
地方交付税は市町村の財政力に応じて国から交付される税金
国庫支出金・府支出金 国や府が、市町村が行う特定の事業などに対して交付する負担金や補助金など
繰入金 各種基金から取り崩すお金
市債 市が大規模な事業を行う際に、国や金融機関から借り入れるお金

主な事業

◎新規事業 ○拡充事業

すべての人が地域のぬくもりを感じ、豊かな自然に囲まれ、
自分が育った「ふるさと」のように思えるまちづくり

④しあわせを実感できる社会の創造

- 三山木地区特定土地区画整理事業 591,797千円 [都市基盤整備]
- 集約型都市検討事業 5,500千円 [都市基盤整備]
- ◎バスロケーションシステム導入補助金 1,604千円 [公共交通]
- ◎自転車ネットワーク計画策定事業 4,000千円 [交通対策]
- ◎水辺の散策路等環境整備検討事業 5,000千円 [住環境]
- 温室効果ガス対策事業(ナラ枯れ対策事業) 1,143千円 [緑の保全]
- ◎地球温暖化対策推進計画策定事業 3,994千円 [循環型社会]
- ◎ごみ処理施設整備検討事業 10,420千円 [循環型社会]
- 住宅用太陽光発電システム設置補助金 15,000千円 [循環型社会]

三山木地区特定土地 区画整理事業

市南部の拠点にふさわしい街並みの形成に向けて整備の進む三山木地区の特定土地区画整理事業として、府道生駒井手線の歩道のブロック舗装と自転車道の整備を行います。



バスロケーション システム導入補助金

京阪バスの車両にデータ通信機能を装備してオンライン化を図ることで、リアルタイムにバス運行情報をパソコン・携帯電話・スマートフォンなどで見られるようにし、利便性の向上を図ります。



⑤京田辺の未来をささえる人づくり

- ◎学校図書館整備事業 15,386千円 [学校教育]
- 三山木小学校増築事業 48,541千円 [学校教育]
- 田辺中学校管理棟新築事業 487,200千円 [学校教育]
- 中学校空調設備設置事業 292,300千円 [学校教育]
- ◎学校トイレ洋式化事業 15,000千円 [学校教育]
- 情報教育推進事業 81,057千円 [学校教育]
- 要準要保護児童生徒就学援助費 11,448千円 [学校教育]
- 学校給食ドライ運用品整備事業 10,000千円 [学校教育]
- 学校給食民間委託事業 30,790千円 [学校教育]
- 移動図書館巡回箇所拡大事業 775千円 [社会教育]
- 京たなべ・同志社ヒューマンカレッジ 554千円 [社会教育]
- ◎地学交流拠点化事業 200千円 [地学連携]

中学校空調設備 設置事業

地球温暖化に伴う気温の上昇により、夏場における学校施設の室温上昇が著しいことから、良好な学校環境を整備するため大住中学校及び培良中学校における空調設備の設置を行います。

また、田辺中学校についても、管理棟新築事業にあわせて空調設備を設置します。(平成25年度)



市民一人あたりの予算額 総額 342,243円 (平成24年度一般会計当初予算を市民一人あたりに換算しました。)

総務費 行政活動、市民活動、交通対策などに 31,292円 	民生費 生活援助、障害者福祉、高齢者福祉、子育て支援などに 123,674円 	衛生費 健康対策、ごみ・し尿処理などに 23,104円 	農林水産業費 農業振興、農業基盤整備などに 5,103円 	商工費 産業振興、消費者行政などに 2,147円
土木費 道路、公園、河川、排水路整備などに 41,898円 	消防費 消防、救急、災害対策などに 18,478円 	教育費 学校、幼稚園、公民館や体育館の運営などに 50,197円 	公債費 市の借金返済などに 41,887円 	その他 放置自転車対策、議会活動などに 4,463円
基金残高 (平成24年度見込)			79,478円	
市債残高 (平成24年度見込)			329,936円	

平成24年度

◎新規事業 ○拡充事業

5つのチャレンジプラン

①安全・安心な暮らしの創造

●地域防災計画の改定	500千円	[防災対策]
●防災訓練	1,500千円	[防災対策]
○広域避難所災害備蓄品整備事業	7,045千円	[防災対策]
◎災害時対応要員増員事業	1,918千円	[防災対策]
◎大規模災害時相互応援協定	194千円	[防災対策]
●環境(空間)放射線モニタリング事業	1,762千円	[防災対策]
◎学校給食等放射能検査事業	711千円	[防災対策]
○木造住宅耐震化促進事業	26,920千円	[防災対策]
●橋りょう点検及び橋りょう長寿命化修繕計画策定事業	12,000千円	[防災対策]
◎公園施設長寿命化計画策定事業	3,700千円	[防災対策]
◎市営住宅耐震化事業	5,600千円	[防災対策]
◎市営住宅長寿命化計画策定事業	3,800千円	[防災対策]
●救急救命士養成事業	1,980千円	[消防救急]
●消防団員の育成・強化事業	395千円	[消防救急]
●消防団資機材の充実	1,389千円	[消防救急]
●消防資機材の充実	6,440千円	[消防救急]
●幼年消防クラブの育成指導	30千円	[消防救急]
●消火栓用器具整備事業	1,097千円	[消防救急]
●消防車両購入事業	35,783千円	[消防救急]
●防犯カメラ設置事業	630千円	[防犯対策]
●防犯ステーション連携事業	(ゼロ予算)	[防犯対策]
◎平和を考える小・中学生ひろしま訪問事業	800千円	[平和都市]
◎外国人ガイドブック作成事業	298千円	[国際交流]
●消費者行政推進事業	2,209千円	[消費者行政]
◎歩道等バリアフリー状況調査事業	(ゼロ予算)	[バリアフリー]
◎保健センターバリアフリー化等修繕工事	1,818千円	[バリアフリー]
◎(仮称)バリアフリー基本構想推進市民会議	211千円	[バリアフリー]

②つながりによる地域力の創造

○子どもを対象としたワークショップ	201千円	[男女共同参画]
◎男女共同参画実践モデル地区チャレンジ事業	100千円	[男女共同参画]
◎京たなべ男女共同参画週間事業	678千円	[男女共同参画]
◎女性相談窓口カード作成事業	32千円	[男女共同参画]
◎身体・知的障害者相談員事業	294千円	[障害福祉]
●障害者相談支援事業	17,800千円	[障害福祉]
●自殺予防対策事業	1,000千円	[障害福祉]
◎子ども遊び場情報誌作成事業	(ゼロ予算)	[子育て支援]
○子育て支援医療費助成事業	241,849千円	[子育て支援]
○年中児発達サポート事業	438千円	[子育て支援]
○留守家庭児童会夏休み期間5、6年生受入試行事業	1,924千円	[子育て支援]
◎みみづく保育園移転事業	93,790千円	[子育て支援]
○肝炎ウイルス検診事業	3,073千円	[成人保健]
○大腸がん検診推進事業	6,736千円	[成人保健]
◎高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業	10,926千円	[予防接種]
●子宮頸がん予防ワクチン接種費用助成事業	23,702千円	[予防接種]
◎食生活改善推進員養成事業	485千円	[健康対策]

③地域の輝きと活力の創造

◎一休とんちロード整備事業	3,000千円	[観光]
●緊急経済対策バリアフリー改修事業	3,000千円	[産業振興]
●中小企業金融支援事業	34,500千円	[産業振興]
○起業家育成施設(D-egg)入居支援事業	3,845千円	[産業振興]
●中小企業ホームページ作成支援事業	2,000千円	[産業振興]
○京たなべの逸品販路開拓支援事業	3,500千円	[産業振興]
●有害鳥獣防護柵設置補助事業	10,800千円	[農業振興]

広域避難所災害備蓄品整備事業

避難所で一定の生活が送れるよう、避難所に防災備蓄倉庫を設置し、乾パンや毛布、ウォーターコンテナ、担架、防災ロール畳、パーティション、発電機、LED球などを備蓄します。

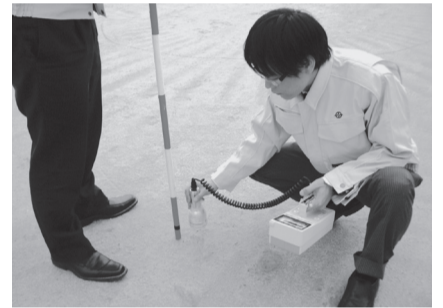
平成24年度は、松井ヶ丘小学校、薪小学校及び普賢寺小学校に倉庫を設置します。



環境(空間)放射線モニタリング事業 学校給食等放射能検査事業

原子力施設に起因する緊急事態等に速やかに対応できる測定体制を平常時から整備しておくため、市内の幼稚園や小学校など32カ所で環境(空間)放射線モニタリングを行います。

また、全ての小学校、保育所の給食を専門の検査機関に委託し、放射能検査を行います。



子ども遊び場 情報誌作成事業

子ども遊び場情報誌の作成に向けて、子育て中の方や同志社大学生等と協力し、「遊び場」の現地調査やヒアリングを行い、情報を集約します。



子育て支援医療費 助成事業

子育てをする家庭の経済的負担を軽くするため、これまで小学校3年生までだった子育て支援医療費助成制度の入院外(外来)の対象を、小学校6年生までに拡大します。



みみづく保育園 移転事業

みみづく保育園の現園舎老朽化対策及び市保育需要の増加への対応として、市が用地提供と土地造成工事を行い、みみづく保育園の一休ヶ丘市営団地跡地への新築移転事業を支援します。



一休とんちロード 整備事業

「一休さん」に光をあてて、JR京田辺駅から酬恩庵一休寺間の観光ルートに「一休さんのまち・京田辺市」を認識できる標識を整備し、よりいっそうの魅力アップ、知名度の向上を図ります。



歳出(目的別)

総務費では、男女共同参画実践モデル地区チャレンジ事業やバスロケーションシステム導入補助金など、約20億2千1百万円を計上しました。

土木費では、東興戸線道路改良工事などの道路新設改良事業や、水辺の散策路等環境整備検討事業、三山木地区特定区画整理事業など、約27億6百万円を計上しました。

補助費等は、後期高齢者広域連合負担金の増などにより、昨年度比4.9%増の12億7千3百万円となりました。

市の残高は、環境衛生センター基金への積み立てを行ったこと等から、前年度より約2億3千万円増えて、約65億1千万円となっています。

歳出(性質別)

人件費は、一般職員給料・市議会議員共済費の減などにより、昨年度比0.7%減の約52億2千7百万円となりました。

年度間の財源調整や特定事業の財源を確保するために、一般家庭の貯金にあたる基金の積み立てを行っています。

また、これらの施設は長期間使用するもので、市債の発行により、施設を利用する世代間の負担を調整しています。

市制施行以降、人口増に対応するため、都市基盤整備を積極的に実施したことにより、市債残高が増加していましたが、財政健全化計画に基づく普通建設事業費の抑制などにより、近年はやや減少傾向にあります。

基金

農林水産業費では、茶業振興対策事業や農業共同利用施設等整備事業補助金など、約3億3千万円を計上しました。

近年の都市基盤整備に伴い、特定目的基金を使う額が増加するとともに、財源不足を補うために財政調整基金を取り崩してきたことから、基金残高は減少傾向にあります。

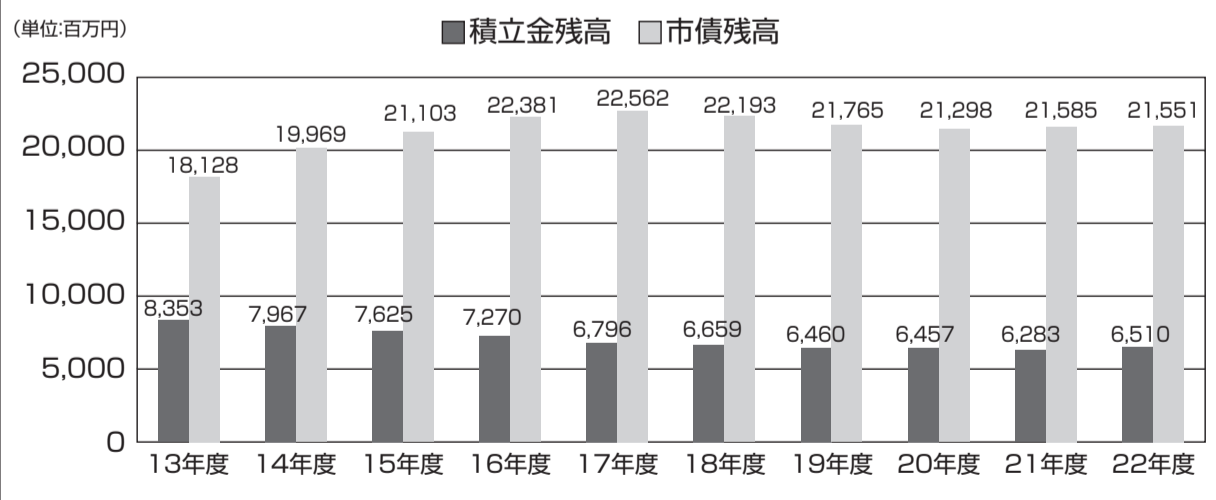
また、これらの施設は長期間使用するもので、市債の発行により、施設を利用する世代間の負担を調整しています。

市制施行以降、人口増に対応するため、都市基盤整備を積極的に実施したことにより、市債残高が増加していましたが、財政健全化計画に基づく普通建設事業費の抑制などにより、近年はやや減少傾向にあります。

市債

公共施設や学校、道路などの整備には多額のお金が必要になりますが、これをその年の収入だけでまかなうことができないため、市債(地方債)を発行して財源を確保しています。

基金・市債残高の推移



三用語解説

(歳出)

人件費 市議会議員、市職員、各種行政委員会委員等に係る報酬、給料、手当、共済費など

物件費 光熱水費、印刷代、旅費、委託料、備品購入費など

補助費 社会保険制度の環として、生活保護費や医療助成費など各種法令などに基づいて支出されるお金

普通建設事業費 道路、学校、公園など公共施設の整備などに要するお金

基金 年度間の財源調整や特定の支出目的のために積み立てるお金

義務的経費 人件費、扶助費、公債費を合わせたもので、毎年の支出が義務付けられている経費

財政の健全化に向けて

本市の財政状況は、平成17年度に策定した「新京田辺市行政改革大綱」に基づく5年間の取り組みにより市債残高が約10億円減少し、また、一部の財政指標にも改善が見られるものの、市税収入の減少が続く一方で、扶助費や公債費などの義務的経費が増加するなど、依然として厳しい状況が続いています。

このような中、市政運営の重要施策を着実に展開していくためには、より健全な財政運営に留意することが必要不可欠であり、税収の確保をはじめとして未利用地の売却などによる自主財源の確保や民間委託の活用、電算システムの共同化による維持管理経費の削減、事務事業の効率化などの改革をさらに踏み込んで進めてまいります。

